

新聞作りを通して、読み手に伝わる文章表現力を高める指導はどうあったらよいか

指定校 1 年次 茅野市立金沢小学校
渡部顕治 久保田智 井出竜也 岡本二葉

一 本校の新聞活用（NIE）の現状

本年度NIE指定校となり、NIE研究を高学年（4，5，6年）で進めていくこととなった。本校の高学年児童は、学習に真面目に取り組み、授業中も積極的に発言したりつぶやいたりする姿も多く見られる。しかし、発言を振り返ると、答えを述べるだけだったり、理由がうまく述べられていなかったりして、相手にわかりやすいように発信されているとはいえない。また、日記や作文でも、感じたことや出来事を時系列で書いているだけで、相手に伝わりやすい文章になっていない様子が見られる。

昨年度の5学年では、論理的な文章の手本として新聞を授業に多く活用した。新聞記事の書き方をもとに意見文や読書感想文を書いたり、記事の読み取り学習を家庭学習で継続して取り組んだりした。その結果、本年度の全国学力テストでは「書くこと」「読むこと」の領域で全国平均正答率を大きく上回った。この実践から、語彙力、読解力、書いて表現する力を伸ばすことに新聞を活用することが有効であるのではないかと考えた。今年度はそれらの中から「書いて表現する力」に焦点をあてて研究を進めることとした。

二 実践のねらい

- (1) 新聞作りを通して、文章表現力を伸ばすことばできる。
 - 新聞記事の書き方を学ぶことで、読み手に伝わる文章の書き方（コツ）がわかる。
 - 伝える相手を意識して、目的を持って文章を書くことができる。
 - 自分の考えを持ち、友だちと考えを交流することで、自分の文章や見出しを見返すことができる。
- (2) 新聞に親しむことで、新聞のおもしろさを知ったり、読解力や思考力を伸ばしたりすることができる。
 - 学校の新聞閲覧コーナーで自由に新聞に触れたり、ドリルの時間や家庭学習で、新聞を読んだりするなど、日常的に新聞に親しむ。
 - 興味のある新聞を切り抜き、スクラップブックにまとめる。
 - 記事を理解し、書かれている内容について意見・感想をもつ。

三 研究の概要

(1) 授業実践から

【5 学年での実践】 「地域の人に縄文のすばらしさを伝えよう」

① 単元目標

キャンプで訪れた尖石縄文考古館で体験したことや調べたことを地域の人に広めたいと願う子どもたちが、記者の方に教わった新聞記事の書き方をもとに、相手意識を持ったり、伝えたいことをはっきりさせたりしながら新聞を作ることを通して、地域の人に自分たちの縄文の魅力を伝えることができる。

② 単元展開

	学習内容・学習活動	○子どもの意識 □指導 評価	時間
はじめ	○オリエンテーション ・新聞の書き方を知る (信毎)	○新聞はこうやって作られていたんだ。 ○新聞を書くときのポイント (見出し=伝えたいこと) ○取材のポイント (5W1H) がわかった。 □新聞を書くときのポイントを押さえよう。	1

な か	○取材内容を決める ○取材内容の検討	○どんなことを取材すればいいかな？ ○見学で楽しみなことを記事にしよう。 ○縄文についても取材してこよう。 □読む人を意識しながら、取材の内容を考えよう。 ○読む人が楽しいと思えるような新聞にしよう。 ○読む人が初めて知ったと思えることがある新聞にしよう。 □友だちと話し合っ、取材内容が適切かどうか確認し合おう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">新聞に書く内容を決め、取材する事を決め出すことができたか。</div>	1
	○取材・体験	○自分が聞きたいことをしっかり聞いて、メモしておこう。 ○よくわからないから、学芸員の方に聞いてみよう。 ○展示してあるものにヒントがないか探してみよう。 ○体験して感じたことをメモしておこう。 □ 準備した取材内容についてできるだけ詳しく聞いたり調べたりしよう。 □体験して感じたことをメモに残しておこう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">取材内容について積極的に取材したり体験の感想をメモしたりすることができたか。</div>	2
	○取材内容まとめ・文章化（信毎） ○記事を書く（本文のみ） ※見出しは書かない	○取材してきたことをどうやって新聞にまとめていくのかな？ ○取材してきたことを具体的にかこう。 □読む人が場面を想像できるように詳しく書こう。	2 2
ま と め	○記事を読み合い見出しについて話し合う。（3人組） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">本時</div>	○トップニュースの見出しを決めれば良いんだな。 ○一目で内容が分かるように見出しを決めよう。 ○見出しと文章が一致しているかな？	2
	○鑑賞し合う。 ○考古館・市役所に掲示してもらおう。	○内容が見出しですぐ分かって見やすいな。 ○ここはもう少し大きく目立つようにすると読みやすいと思うよ。 ○読む人の目をひくような新聞にしたいな。 ○色がついていて読んで欲しいところが分かるよ。 □読む人が興味をもてるような新聞の構成にしよう。 □読む人（友だち）のアドバイスを生かして最後の修正しよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">読む人を意識して、新聞を作り上げることができたか。</div>	1

③本時案

i 主眼

宿泊学習で縄文についての見学・取材・体験をし、新聞社の方から新聞記事の書き方を教えていただいた子ども達が、友だちと自分の書いた本文から見出しを検討し合うことを通して、伝えたいことが一目で分かる見出しや本文に表すことができる。

ii 本時の位置 1 1時間中の9時間目

iii 指導上の留意点

- ・グループは話し合いに差が出ないように教師がバランスをみて行う。
- ・検討後に文章を書き直したい児童にはその機会を与える。
- ・グループの人数分の記事を用意する。
- ・学習カードに記入する理由（根拠）は記事の中から見つけさせる。

iv 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	指導 評価	時間
はじめ	1. 見出しとは何だったのかを振り返る	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">学習問題：見出しを見つけよう！</div> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞に大切なのは、見出しだったな。 ・見出しで何を書いてあるか分かった。 ・『見出し＝伝えたいこと』だったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見出しとは何だったのか想起させる。 ・見出しで本文の内容が分かることを押さえる。 ・本物の新聞で『見出し＝伝えたいこと』を確認する。 	5
	2. 良い見出しの付け方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを一目で分かるようにしよう。 ・どうやって決めるのかな？ ・記事を読めば見出しが決められる。 ・友だちと読み合えば伝わったかどうか確かめられそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを見出しにすることを確認する。 ・どうすれば見出しができるのか問う。 ・伝わったことを確認するにはどうしたら良いのか問う。 	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">学習課題：グループで話し合い、伝えたいことが一目で分かる見出しや本文に</div>				
なか	3. 見出しを付け、3人グループで検討し合う。 (1人10分) ○おおよその時間 ・5分本文を読み見出しを考える ・5分見出しについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の見出しも考えて、友だちと見比べればいいんだな。 ・記事から理由を考えればいいんだな。 ・友だちの記事は何を伝えたいのかな？ ・こういう記事ならこういう見出しがいいかな。 ・この記事ならこっちの見出しの方があっていると思うよ。 ・この見出しと記事が合っていていいと思う。 ・早く終わったから次の記事の見出しも考えてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いの仕方を説明する。 ・根拠は、本文の中から取り出して考えさせる。 ・10分ごと時間を区切り、次の人の見出しに移るように声掛けする。 ・途中5分で、そろそろ話し合いに入るように声掛けする。 ・話し合いが進まずに困っている班にはアドバイスを。「伝えたいことは何か？」 ・早く終わったグループは2つ目3つ目の記事を検討し合う。 	3 5
	4. 話し合いを参考に、見出しを再検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒にだったから自分の作った見出しと本文が合っていたんだ。 ・伝わっていなかったから違う見出しにしないと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを見出しにしてもらってあるか確認させる。 ・伝えたいことが伝わっていない場合は、本文や見出しを考えさせる。 	

まとめ	5. できた見出しと感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことが伝わっていて良かった。 ・伝えたいことが文章に表せた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読む人に伝わる見出しができたことを賞賛する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 伝えたいことが、一目で分かる見出しや本文にすることができた </div>	5
-----	--------------------	--	---	---

【6学年の実践から】 「修学旅行記を書こう」

①展開

※ゴシックが工夫した点

	学習活動	指導	時	備考
導入	○修学旅行で、学んだことや楽しかった思い出をお家の人にも伝えるため旅行記に表そう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">お家の人に伝わる修学旅行記を書こう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識や相手意識を持たずことを大事にする。 	1	
なか	○本物の新聞記事から記事の書き方を学ぼう。 <ul style="list-style-type: none"> ・逆三角形 ・5W1H ・詳しく 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の新聞記事を使い、「見出し」「本文」などから5W1Hを使い詳しく書かれていること、見出しの工夫などを確認する。 	1	新聞記事
	○構成カードに、書く内容をまとめていこう。 <ul style="list-style-type: none"> ・3段構成 A 伝えたいこと B 体験・理由・詳細 C まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成カードを使い、伝えたいことを焦点化、具体化させる。 	1	新聞記者さんから頂いた構成カード(改)
	○新聞記事の下書きをしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・構成カードをもとに、記事にしていく。 ・主語と述語、接続詞 ・短い文章で 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことが伝わるように5W1Hや書く順番などを意識させる。 	1	
	○パソコンで仕上げよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・推敲する 	<ul style="list-style-type: none"> ・誤字脱字、文章表現を見直しながら、パソコンに打ち込んでいく。 	2	共通した紙面(枠)
	○友だちと読み合って、伝えたいことが伝わる文章になっているか確認しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・その記事で一番言いたことを見出しに表そう。 ・友だちに自分の記事に見出しをつけてもらおう。自分のつけた見出しと比べて、記事がよくかけているか確かめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「見出し=伝えたいことが一目で分かる」 ・見出しを手だてに、自分の言いたことが相手に伝わっているか確認させる。 	1	ペアで読みアドバイスをし合う
まとめ	○再構成して完成させよう。 ○おもしろ部分を書き入れる。 ○卒業文集に載せよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・伝わってなかった文章に手直しをさせ、完成させる。 	1	

②実際の授業から

i 実際の新聞記事を使い、記事の書き方を学ぶ

- ・逆三角形（見出し、リード、本文）
- ・5W1H
- ・詳しく

授業の様子から

- ・見出し、リード文、本文の逆三角形構成を確認できた。
- ・見出し=記事の要約であることを確認できた。
- ・リード文、本文から詳しく書かれていること、5W1Hについて学習できた。
- ・新聞を授業で使ったり、スクラップに取り組むことで、抵抗なく読める子が増えてきた。読めると楽しさも分かってくる様子も見られた。

ii 構成カード

- ・伝えたいことを明確にする
- ・書くことをしぼる

A
その記事で読む人に何を伝えたいのか

①初めての切り子体験に苦戦

B
Aのことを伝えるために書くこと（詳細）（5W1H）

①初めて切り子作りをした。初めてなので緊張した。見本がおいてあって簡単だった。と書いた。

②実際にやってみると、軽く押すと、抜くはずの機械が抜けず、外と難しく、あまりきついにはずれなかった。

③抜くのはまあまあ良かったが、よくみるといい仕上がりだ。めだにできない体験だからよかった。

授業の様子から

- ・伝えたいことが焦点化できた。
- ×切り子体験について
- 初めての切り子体験に苦戦
- ・伝えたいことを伝えるために、どんな体験、どんな様子を詳しく書けばよいのか初めは悩んでいた子どもたちも、友だちの構成カードのよい所を参考にしながら、コツを学んでいった。（構成カードは新聞作りだけでなく他の学習でも利用できる）
- ・構成カードを見ながら本文に表していくことで、本文を書くのに抵抗感がなくなった。

iii 友だちと記事を読み合い、言いたことが伝わる文章になっているか確かめる。



①ペアの記事をよく読む



②要約をし、題名をつけてあげる



③自分が付けた題名と、友だちが付けた題名が合っているかな？
合っていた！僕の記事はうまく書けているんだ！！



〇〇ちゃんはスカイツリーの高さに驚いたことを伝えたいんでしょ？そのことがあまり書かれていなかったよ。

ここに書いたつもりなんだけどなあ。どうすれば伝わるのかな・・・



言葉使いは少し違うけど、全部同じ内容の題名になっているぞ。よかった！でもこっちの言葉の方が題名にいいな。

授業の様子から

- ・「題名が一致していれば言いたいことが伝わっている」という確認の仕方は子どもたちにとってわかり易く、楽しんで行えた。
- ・伝わっていないことがわかると、進んで自分の文章を直す姿が見られた。
- ・題名が一致していた子は、とても嬉しそうに満足気だった。
- ・内容が合っていた子は、題名の言葉選びを検討する姿があった。

子どもたちの感想

- ・友だちに読んでもらおうと、自分はしっかり書いたつもりでも、うまくかけていない部分があったことが分かった。
- ・3人とも題名が一緒になった時があって、みんなで盛り上がったときがうれしかった。

(2) 新聞に親しむ活動から

①新聞閲覧コーナーを設置

通年で新聞を購読し、児童昇降口に新聞コーナーを設置した。全校が頻繁に通る児童昇降口に置いたことで、多くの児童が自然に新聞に触れたり、新聞を読んだりする姿が見られた。

②新聞スクラップ

6学年で新聞スクラップを行った。「無理なく、楽しく」を合い言葉に、週に1回ドリルの時間を利用して記事を選びスクラップ帳に貼り付け、家庭学習で読んでくるというサイクルにした。新聞閲覧コーナーで蓄積した新聞を使い15分間のドリル時間を使って新聞記事を選ぶ際には、意欲的に新聞に触れ、おもしろい記事や興味のある記事について友だちと話し合う姿も見られた。

③普段の授業の中にも新聞記事を活用

信濃毎日新聞のデータベースを使い、授業の資料として新聞記事を活用した。国語では意見文の手本として、社会では時事資料として有効に活用することができた。

四 研究全体の成果と課題

(1) 授業実践に関わって

○成果

- ・伝えたいことを見出しにすることで、見出しの重要性・特性を知ることができた。また、見出しは伝えたいことを要約しているということも学べた。
- ・友だちに読んでもらうことで、自分が書いた文章が伝わる文章になっていたか確認し、修正することができた。
- ・自分の考えた見出しと友だちに考えてもらった見出しとを比較したことで、より良い見出しをつける方法（体言止め、呼びかけなど）を身につけることができた。
- ・見出しは「多くて20字」と限定したことで、伝えたいことをより焦点化することができた。
- ・総合的な学習の時間の探究過程の中で、自分自身の考えをまとめたり、他者に伝えたりする「まとめ・表現」の活動として新聞作り活動を位置づけることができた。
- ・実際の新聞記事を読んだり、構成カードに自分が伝えたいことをまとめてから記事を書いたりしたことで、書くことに抵抗がある子どもたちも意欲的に取り組むことができた。

○課題

- ・課題を位置づけるために子どもの発言からやることも大切だが、本時の活動を考えるとこちらから学習課題を提示することも必要であった。
- ・本時の活動が『見出しをつける』『見出しの比較検討』『本文を見直す』という3つの活動が同時に行なったことで、3つの思考の落としどころどこにするのが曖昧になってしまった。また、子どもたちの中に、やるが多すぎて苦勞している児童の姿も見られた。
- ・まとめて全員分（3～4人分）を行うのではなく、見出しが出そろっている状態で検討し合っても良かった。

(2) 新聞に親しむ活動に関わって

- ・新聞閲覧コーナーを作ったところ、多くの児童が自然に新聞に触れたり、読んだりする姿が見られた。次年度は、新聞を置いておくだけでは興味をもたず見向きしない児童が、少しでも興味を持てるような手だてを考えていきたい。
- ・新聞スクラップをする際に、15分間のドリルの時間を使い記事を選び、分からない言葉を調べたり、感想や考えを書いたりすることを家庭学習で行うサイクルがよかった。15分間の記事選びに確保することで、子どもたちは色々な紙面に目を通したり、気になる記事をじっくり読んだりすることができた。